

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	食育推進事業				シート番号	011-197
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進	課 評価責任者(課長名) 河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	食育基本法			
	4	関連計画	堺市食育推進計画(第3次)、健康さかい21(第2次)			
5	事業実施の経緯	平成17年に食育基本法が施行され、本市においても平成19年3月に堺市食育推進計画、平成24年3月に堺市食育推進計画(第2次)、平成29年3月に堺市食育推進計画(第3次)を策定し、行政と食育関係団体が連携した食育の取組を展開している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市民					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市食育推進計画(第3次)に基づき、行政が各課で事業を展開するとともに、市民や食育関係団体との協働による食育の取組を推進し、市民が食に関する正しい知識をもち、生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むことで、食を通じた元気なまち堺の実現をめざす。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	食育に関するイベントや食育体験教室を開催し、食の大切さや食に関する正しい知識の普及啓発を行う。また、食育推進ネットワーク会議を開催し、行政と食育関係団体が食に関する情報を共有し、協力・協働して食育推進活動に取り組む。					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						

Ⅲ. 投入量

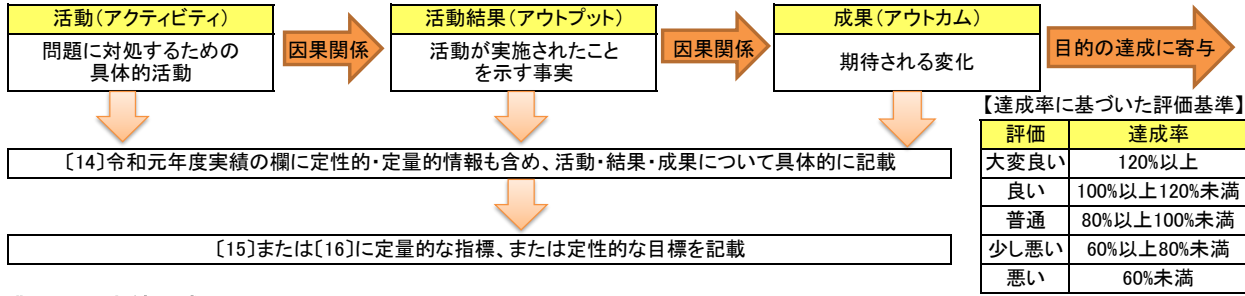
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費(a)	千円	5,283	5,009	5,064	5,599	5,454	5,203	1,921
主な事業費内訳								
食育推進イベント委託料	千円	3,400	3,397	3,400	3,399	3,400	3,233	0
報償費	千円	416	271	304	284	334	270	383
需用費	千円	1,467	1,152	1,360	1,734	1,436	1,700	1,538
財源内訳								
国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他()	千円							
一般財源	千円	5,283	5,009	5,064	5,599	5,454	5,203	1,921
12 人件費(b)	千円	4,950	4,950	4,950	4,950	4,900	4,900	5,850
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,233	9,959	10,014	10,549	10,354	10,103	7,771

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	食育推進事業	シート番号	011-197
-------	--------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績																															
活動実績と成果	14	<p>食育に関する体験や、調理実習を通して、食べ物の生産過程や感謝する気持ち、食事づくりができることなどの「食べる力」を身に付けることは、健康で豊かな人間性を育むためには欠かすことができない。食育で身に付けたい「食べる力」を育むため、食育に関するイベントや食育体験事業を、市民1人ひとりが自らの食について考え、見直し、健全な食生活に、基づいて学べるように実施した。</p> <p>食育に関するイベント：市役所において食育パネル展(6月)やハーベストの丘でさかい食育わんだーランド(12月)等のイベントを開催。 食育体験事業：各保健センターや地域の講座等において随時開催。</p>																													
	15	朝食を食べる者の割合	%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>指標名【活動指標】</th><th>単位</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th></tr> <tr><td rowspan="4">朝食を食べる者の割合</td><td>目標値</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>93.1</td><td>92.9</td><td>92.3</td><td></td></tr> <tr><td>達成率</td><td>93%</td><td>93%</td><td>92%</td><td></td></tr> <tr><td>評価</td><td>普通</td><td>普通</td><td>普通</td><td></td></tr> </table>	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	朝食を食べる者の割合	目標値	100	100	100	100	実績値	93.1	92.9	92.3		達成率	93%	93%	92%		評価	普通	普通	普通	
	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																									
	朝食を食べる者の割合	目標値	100	100	100	100																									
		実績値	93.1	92.9	92.3																										
		達成率	93%	93%	92%																										
		評価	普通	普通	普通																										
	算出方法・設定根拠など		堺市国民健康保険加入者で、特定健康診査受診者																												
	16																														

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	食育体験事業の参加人数	人	1,926	1,797	1,851
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,423	2,018	1,970
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	739	1,123	1,064
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		上記の指標は、40歳以上の特定健診受診者である。健康に関心のある方でも、朝食を週4回以上食べる者の割合は9割を超えているが、まだ100%には達していない。一方で、小中学校生や若い世代の男性の朝食の欠食が問題となっている。食育体験事業の参加者が食育の大切さを自覚し行動変容するとともに、家族や知り合いの方に食育を伝えつなげていく本事業の取組は有効性が高い。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	食育推進事業	シート番号	011-197
-------	--------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 食育体験事業は、子どもやその保護者の世代を対象に食育に関する講話や調理実習などの参加型体験事業であり、家庭における食育の推進には欠かせない事業である。堺市食育推進計画(第3次)において、主に取り組んでいる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 食育は、様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることができる。食育体験事業は、食育の推進には欠かせない事業である。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 令和2年度は食育推進イベントの事業費が縮減した。これ以上の削減をすると事業が実施できない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 開催時期、開催内容、参加者人数の見直しを行っている。従来の事業が開催できない分、動画等でも情報提供を行っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 食育体験事業の開催に関しては、新しい生活様式に沿って事業の内容を見直ししていく。また、SNSや動画の配信など若い世代に受け入れられる方法を取り入れながら、積極的な情報の発信を図っていく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 従来、調理や野菜の収穫体験等を主として行ってきたが、今後は新しい生活様式に沿って1回に開催する対象者の人数や開催時間の短縮など内容を見直しすると、あわせてICTを活用(レシピの動画配信など)し、楽しんで食に興味をもってもらえるような内容を子育て世代や、若い世代を対象に積極的に情報発信を行っていく。